

“社会・障害福祉”ご担当者さま

昨年おきた相模原市の障害者施設殺傷事件と通底する、知的障害のある健太さんの死亡事件を、入念な取材をもとに書きあげました。その奥にある優生思想についても考察します。

2017年6月1日発売！

齋藤貴男 著

健太さんはなぜ死んだか

警官たちの「正義」と障害者の命

もし、その青年が
障害者で

なかったならば

.....

事件は

同じように起きて

裁判は

同じ経過を

たどったのだろうか

安永健太さん事件とは

二〇〇七年九月、佐賀市で、中度の知的障害のある安永健太さん(当時二五歳)が仕事から自転車で帰宅途中、不審者と間違われて警官たちに取り押さえられ、路上で命を落とした事件。警察は「保護」だったと主張したが、遺族は「逮捕」だったとして刑事・民事の両方の裁判で争った。民事裁判では、地域の安全を守る警官は、当然、障害者への接し方を知っていなくてはならず、知っているならば事件は避けられた可能性があったことも争点となった。

目次

第一章 事件の発生とその後の経過

第二章 健太さんってどんな人？

第三章 刑事と民事、二つの裁判のゆくえ

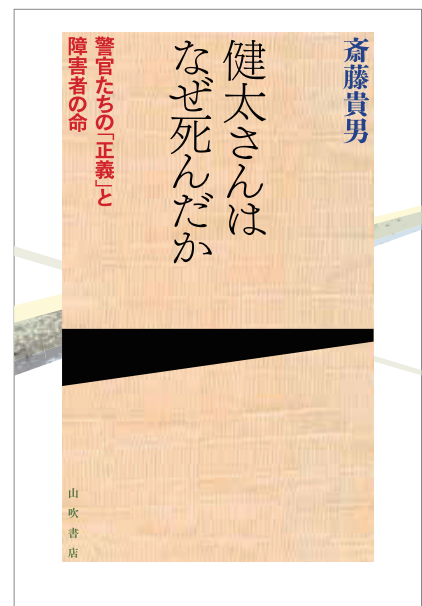
第四章 跋扈する優性“思想”に克つ

著者

齋藤貴男

1958年生まれ。ジャーナリスト。

著書に『機会不平等』(岩波現代文庫)、『ルポ改憲潮流』(岩波新書)、『「心」と「国策」の内幕』(ちくま文庫)、『消費税のカラクリ』(講談社現代新書)、『「東京電力」研究 排除の系譜』(角川文庫)、『戦争のできる国へ——安倍政権の正体』(朝日新書)、『失われたもの』(みすず書房)ほか多数。



発行=山吹書店

発売=JRC

定価=1,500円+税

ISBN978-4-86538-063-7

取次ぎ番線/コード印

ご注文数

ご担当者様名

注文・返品条件付

冊

健太さんはなぜ死んだか

警官たちの「正義」と障害者の命

齋藤貴男 著

定価=1,500円+税 ISBN 978-4-86538-063-7

お申し込み FAX **03-3294-2177** (JRC)

発行=山吹書店/発売=JRC

東京都千代田区神田神保町1-34 風間ビル1F

TEL: 03-5283-2230 EMAIL: info@jrc-book.com